

商学部主催
商学研究科共催

学術講演会

演題

「企業の銀行離れは進むのか？」

—CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)と連結経営—

講師：福嶋 幸太郎氏(大阪ガスファイナンス(株)代表取締役社長)

日時：2018年11月28日(水) 3限(13:30~15:00)

会場：B号館 101号教室

主催：関西学院大学商学部

共催：関西学院大学商学研究科



講演要旨

CMSはグループ経営を行う企業体で、グループ全体の現金や流動資産を一元的に管理し、グループ各社で生じる資金の過不足を調整することで、効率的な資金利用を図るシステムである。2014年の経済産業省の調査によれば、東証一部・二部上場企業の46%がCMSを導入している。1999年に大阪ガスと旧三和銀行が共同開発したCMSのアプリケーション・ソフトは、その後の三菱UFJ銀行へ引き継がれ、現在も企業で利用されている。CMSは企業財務担当者が開発し育てた企業財務の仕組みであるが、学術研究者の研究が少ない分野である。なぜならば、財務データは企業機密になることが多く、企業の財務担当者が工夫を重ねて創り出したグループファイナンスの仕組みであるからだ。CMSは、インターネットが金融分野で活用され出すと同時に普及を始めた。CMSは銀行に代替して、大きな経済的効果を産み出すが、様々な運用課題を抱えている。そして、今後企業の銀行離れが進むのかを皆さんと一緒に考えてみたい。

講師紹介

1959年大阪市生まれ、1983年大阪市立大学商学部卒業、大阪ガス(株)入社、2007年大阪ガス(株)財務部連結管理チームマネジャー、2010年大阪ガス(株)経理業務部長、2014年大阪ガスファイナンス(株)社長(現任)、2018年京都大学大学院経済学研究科博士課程修了、京都大学博士(経済学)、関西ベンチャー学会副会長。

(表彰) 2006年「宅ふあいる便」でYahoo! Web of the Yearを受賞、2018年日本情報ディレクター学会学術賞受賞。